

これからの
大腸がん内視鏡治療

広島市立広島市民病院 内科
大江 啓常

大腸腫瘍に対する内視鏡治療



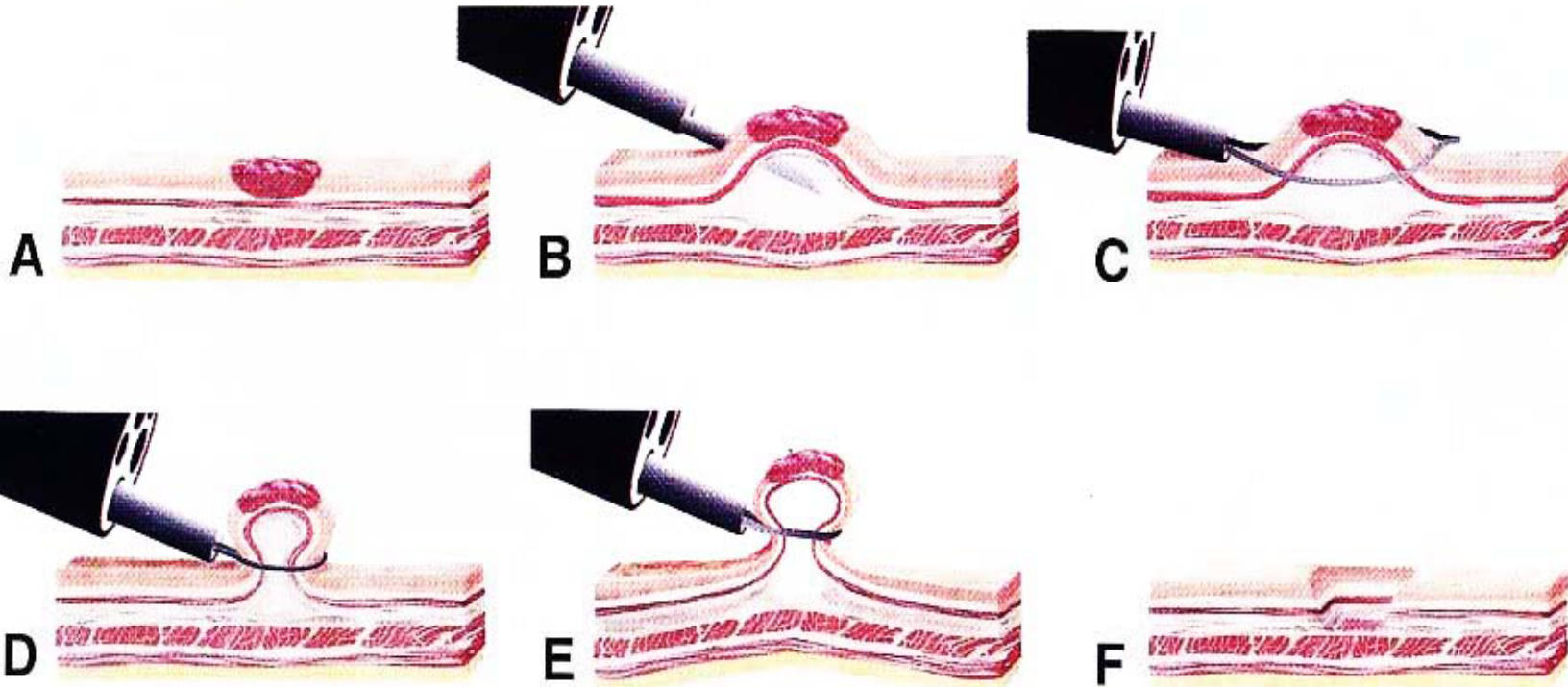
内視鏡的粘膜切除術

(*endoscopic mucosal resection: EMR*)

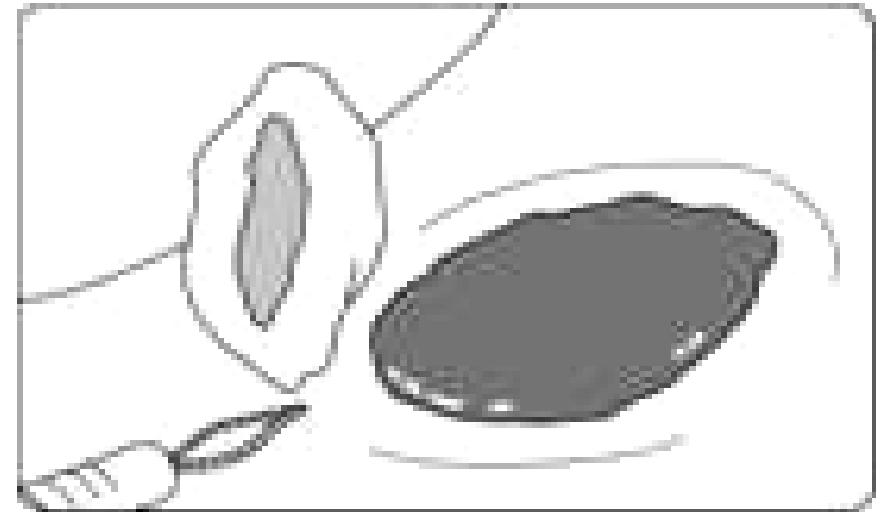
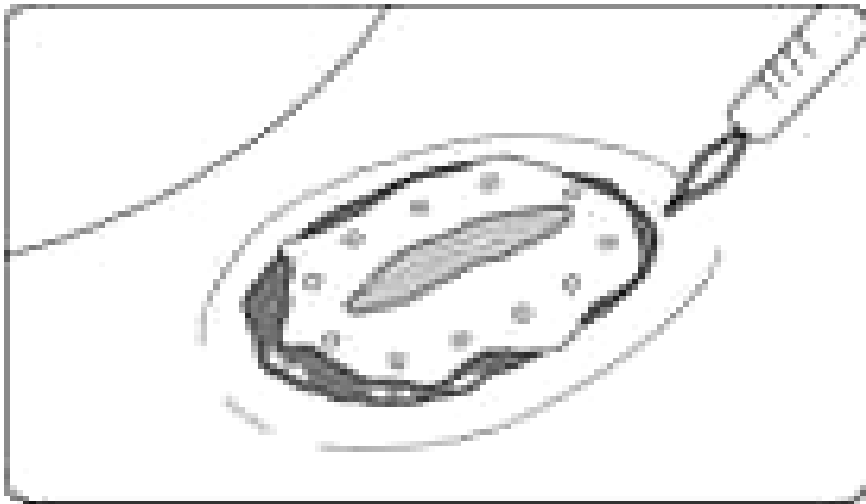
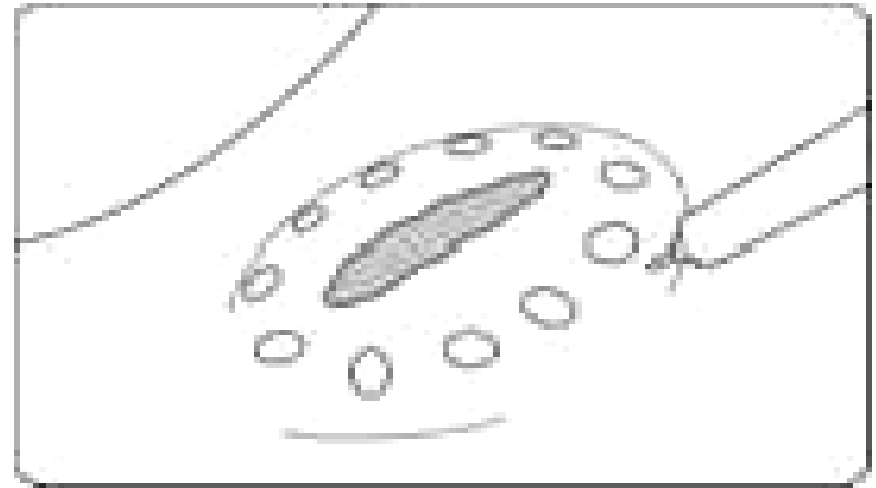
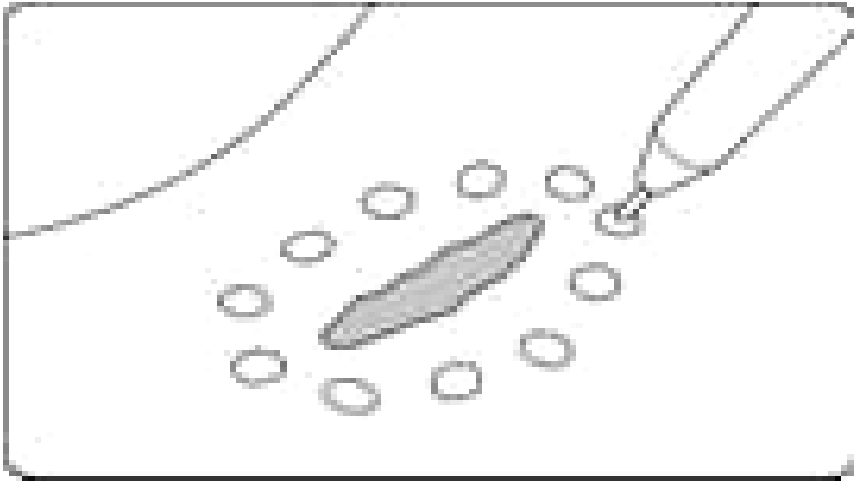
内視鏡的粘膜下層剥離術

(*endoscopic submucosal dissection: ESD*)

EMR



ESD



EMR

ESD

腫瘍径の制限

2cmまで

制限なし

手技の難易度

易

難

施行時間

数分

数10分～数時間

穿孔率

低(0.02～0.08%)

高(6.0%)

2006年4月

胃ESDが保険適応(11,000点)

2008年4月

食道ESDが保険適応(17,000点)

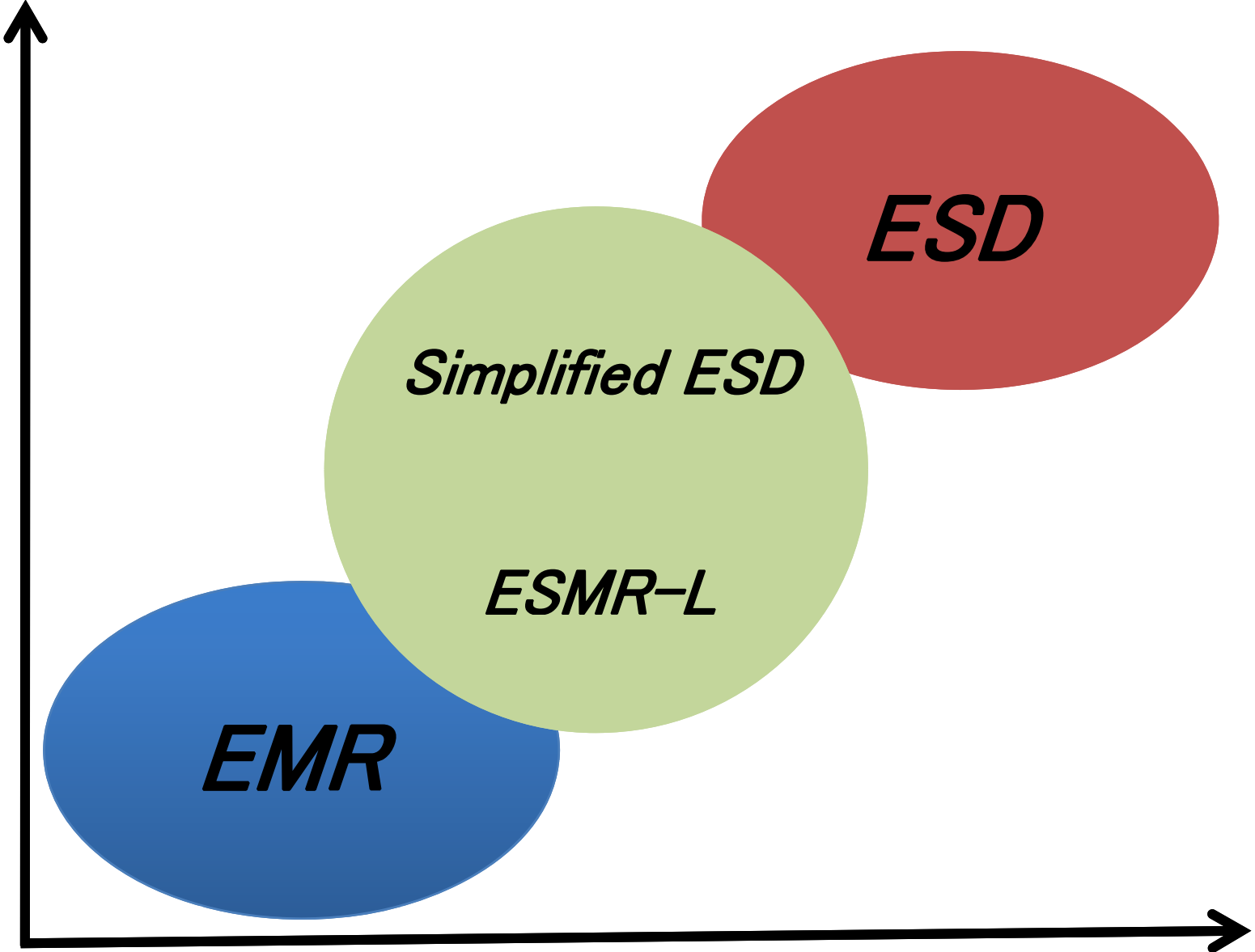
2009年6月

大腸ESDが先進医療承認

?年

大腸ESDの保険適応

根治性

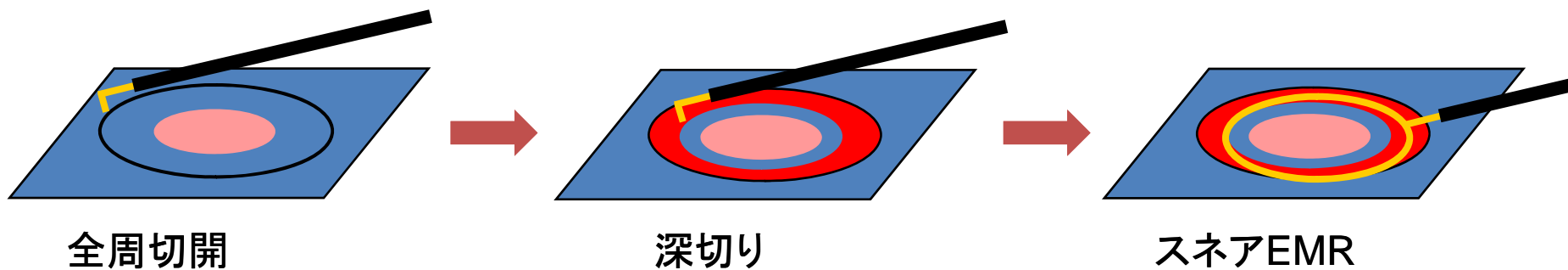


難易度・危険性

Simplified ESD

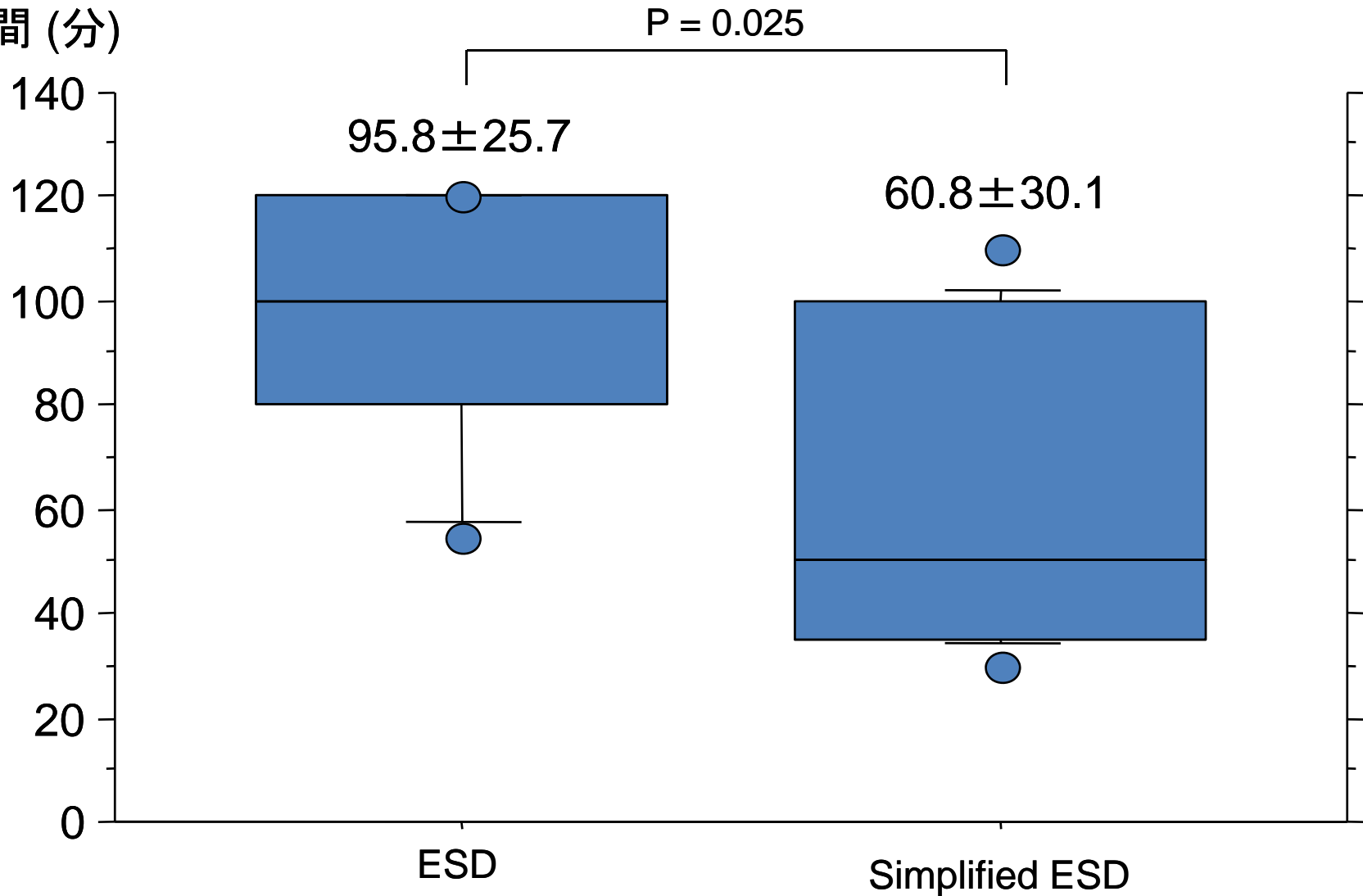
EMR + ESD

Simplified ESD



処置時間

時間 (分)



ESMR-L

(Endoscopic Submucosal Resection with Ligation device)

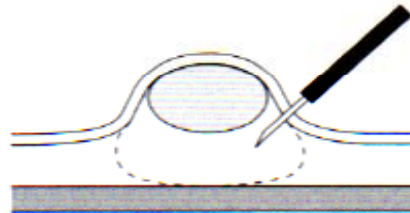
EMR + EVL

ESMRL

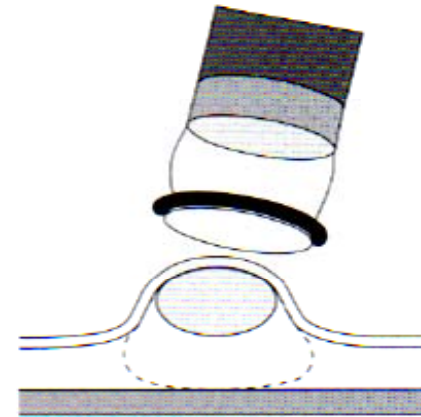
粘膜層
粘膜下層
固有筋層



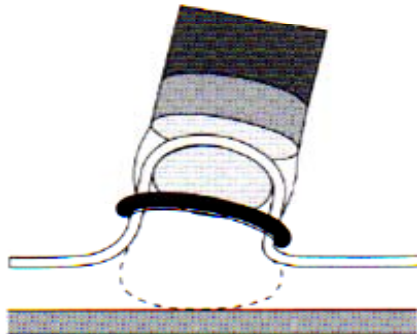
直腸カルチノイド
などの粘膜下腫瘍



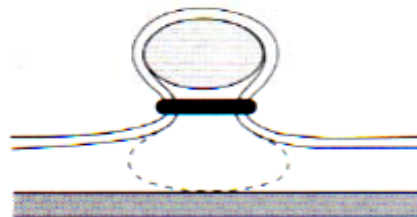
局注液が腫瘍の下の
粘膜下層に注入される。



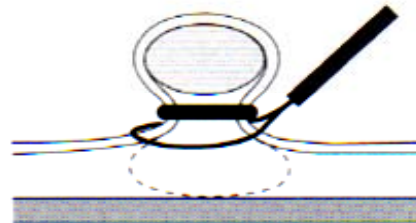
透明先端フードを
つけた内視鏡で腫瘍
にアプローチする。



病変が透明先端フー
ド内に吸引される。



O-リングで結紮す
る。



O-リング直下をス
ネアで絞扼し凝固通
電のみで切除する。

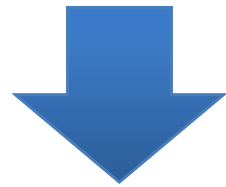


病変を回収する。

大腸カルチノイドに対する内視鏡治療成績

Method	Complete resection rate	Resection time (minutes)	Complication (Bleeding, Perforation)
Strip biopsy	75.5 % (37/49)	4.4 (8)	0 % (0/8)
Polypectomy	68.2 % (15/22)		0 % (0/22)
EMR	67.0 % (77/115)	6.3 (85)	5.5 % (5/91)
EMR-C	87.3 % (55/63)	7.5 (8)	0 % (0/48)
ESMR-L	96.7 % (89/92)	7.4 (7)	1.2 % (1/78)
ESD	94.2 % (97/103)	24.5 (78)	5.8 % (6/103)

これからの大腸がん内視鏡治療



安全なESD

大腸ESDに用いられるデバイス



Needle knife



IT knife



Hook knife



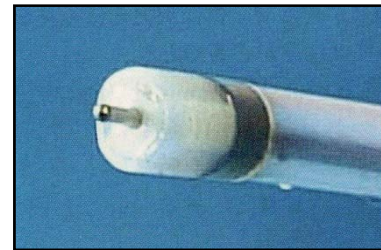
Flex knife



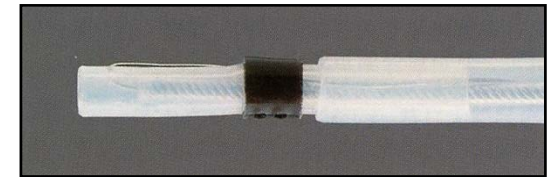
TT knife



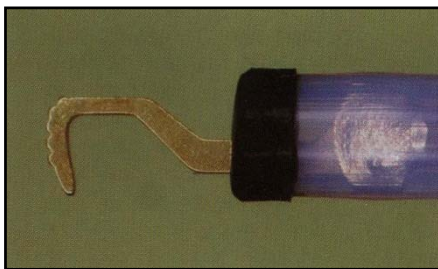
IT knife2



Flush knife



MUCOSECTOME



Mantis hook



B-knife



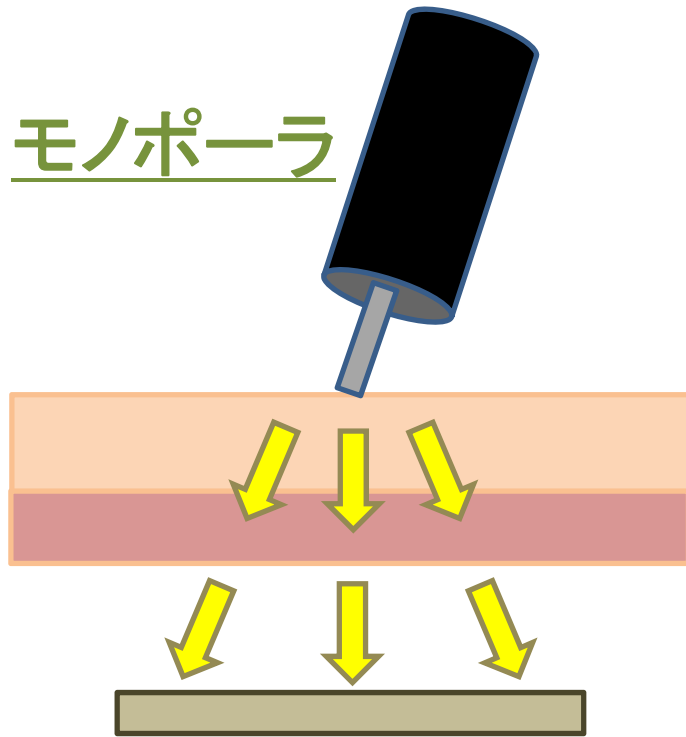
Dual knife



SBナイフ

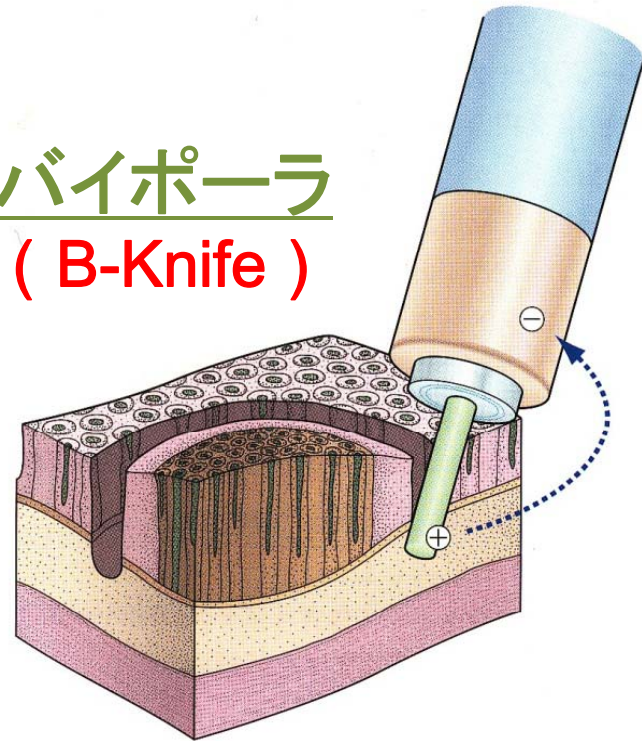
モノポーラ(単極方式)とバイポーラ(双極方式)

モノポーラ



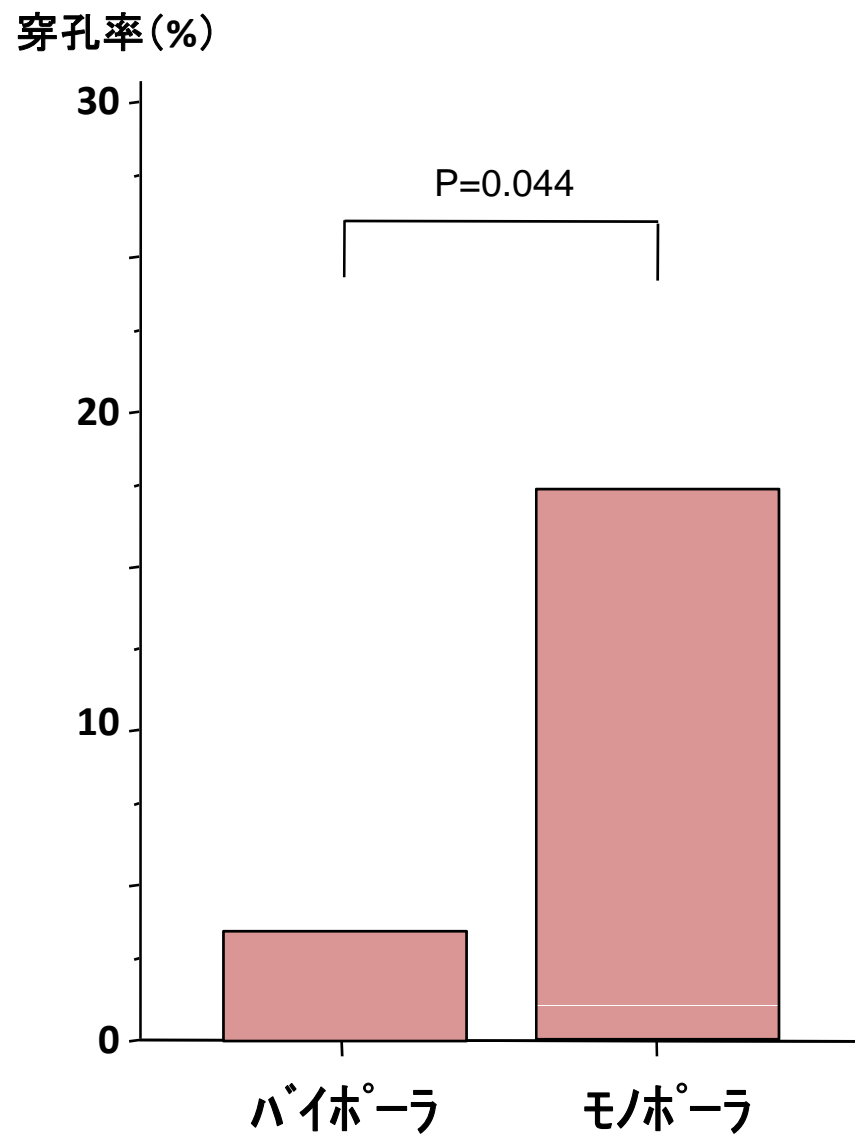
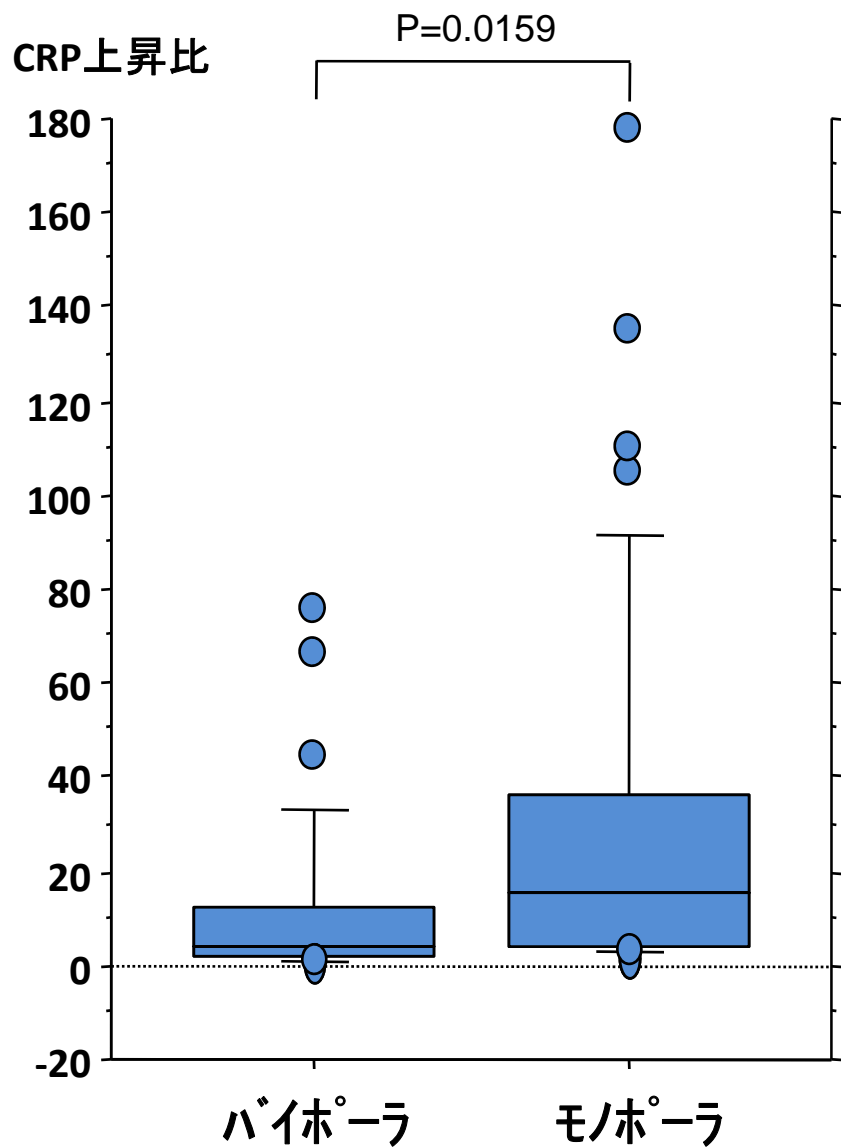
対極板

バイポーラ
(B-Knife)



穿孔の危険性が少ない

モノポーラとバイポーラのCRP上昇比と穿孔率



SB (STAG BEETLE) ナイフ



SBナイフ(胃)



SBナイフJr(大腸)

当院における大腸ESDの治療成績

大腸ESD128例の内訳

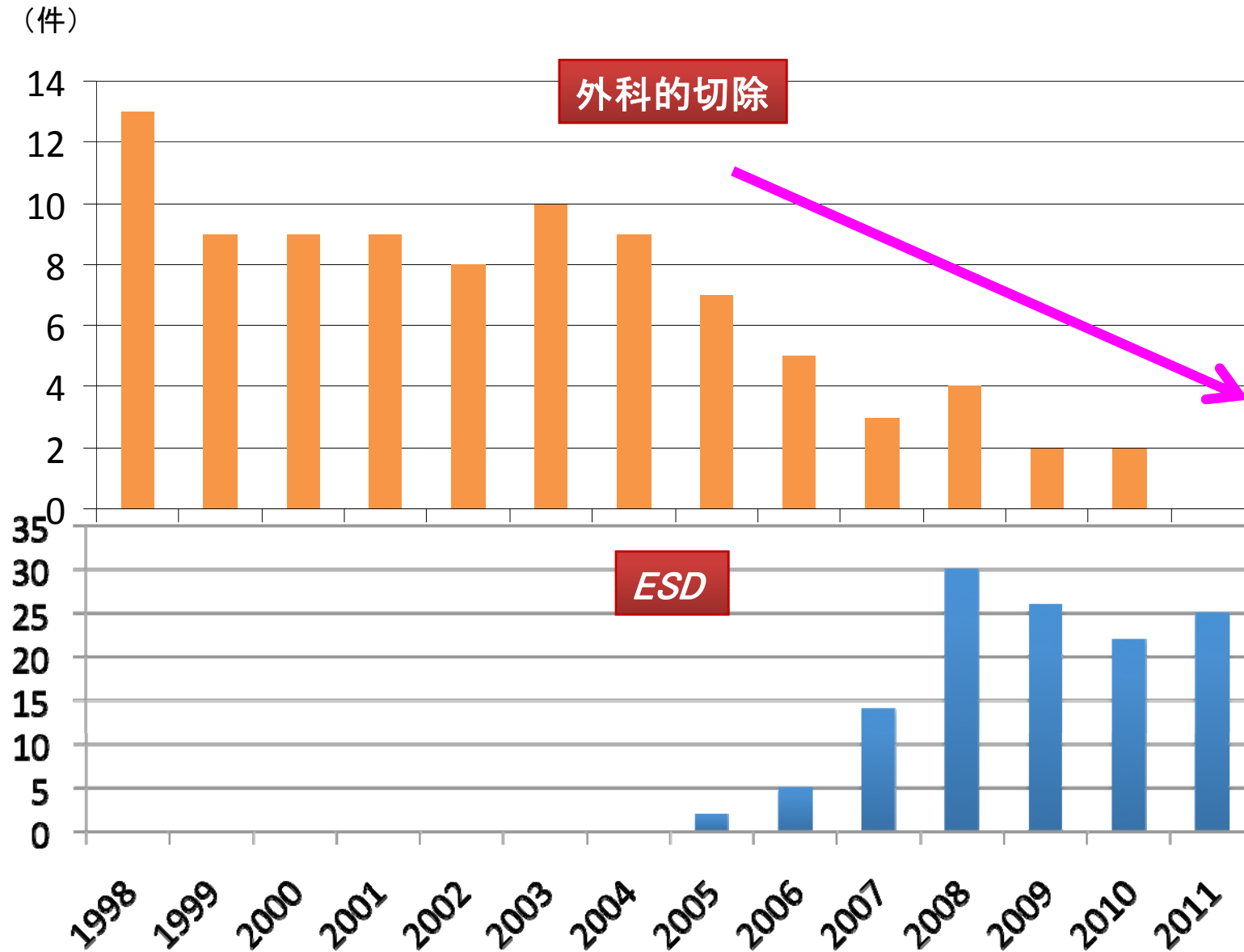
- 部位：R 51例、S 12例、D 2例、T 15例、A 25例、
C 23例
- 肉眼型：LST-G 48例、LST-NG 46例、Is 18例、
IIC 10例、SMT 7例
- 平均腫瘍長径：35.5mm (5-80mm)
- 組織診断：腺腫 53例、m癌 56例、sm癌 12例
carcinoid 7例

(2005.11～2011.8)

大腸ESD治療成績のまとめ

- 一括完全切除率: 92.2% (118/128)
 - 平均処置時間: 91.6分 (30~270分)
 - 偶発症: 出血: 5.5% (7/128)、穿孔: 9.4% (12/128)
 - 遺残・再発率: 0% (0/128) [平均観察期間42.1±6.6ヶ月]
-

大腸粘膜癌(Stage 0)に対する外科的切除とESDの年次推移



大腸腫瘍に対する治療戦略

